（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス　ポレポレ			
○保護者評価実施期間	令和8年　10月　1日	～	令和8年　10月　17日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	19名	（回答者数）	16名
○従業者評価実施期間	令和8年　10月　20日	～	令和8年　10月　24日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	2名	（回答者数）	2名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年　10月　31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者からの信頼度が高いこと	子どもや保護者に安心感をもって通所してもらえるように、子どもの日々の活動の様子をLINEを使用し、写真入りでわかりやすく保護者へ伝えている。	親子で会話するコミュニケーションツールとなっているということで保護者から好評なので、引き続きクオリティを下げずに行っていく。
2	こどもがリラックスでき、自分自身を開放できる居場所	本人の意思を尊重しながら、遊びや学習、集団活動を通して楽しみながら参加できるような支援を心掛けている。	みんなで遊び、触れ合い、学ぶ中で、「楽しい」「できた」の気持ちを大切にしていく。
3	毎日行っているアクティビティ（「活動」と呼んでいる）が職員の手作りであること。	前月に次月の週ごとのアクティビティの内容を考え、季節に応じたものを取り入れている。また、アクティビティの種類が偏らないように工作系・運動系を織り交ぜている。	子どもの成長に繋がり、子どもが楽しめるような新しいアクティビティを考えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの安全確保に関して、安全計画に基づく取組内容（非常時等の対応など）を保護者にも周知していきたい。	安全管理に必要な研修や訓練を保護者に対してHPやLINEを通じて発信できていない。	HPやLINEを活用して定期的に避難訓練等の様子を発信していく。
2	保護者が事業所や子どもの様子を気軽に参観できる機会があまりない。	事業所内を案内したり、子どもの様子を実際に見れたりする機会を設けられていない。	今後は、イベント（研修）や活動の参観、保護者同士の交流の機会を検討していく。
3	学校休業日における長時間支援	学校休業日(土曜日・長期休業日）の午前・午後の活動内容が課題となっている。特に午後２時から２時間の集団活動内容の見直し。	保護者から外出イベントをしてほしいという要望があるので、それも含めて検討していく。